

カラータッチ（先生用・進行シート）

領域・形態・時間	聞くこと・動くこと クラス全体（教室内を移動） 10分
ねらい	色のことばを聞いて、教室の中からその色のものを見つけてタッチする。体を動かしながら色の音をためる。

やり方 この流れでやってみよう

- 1

Stand up, everyone.

全員立つ。机の間を歩けるスペースを確認
- 2

Touch something ... red!

先生が色を言う。子どもは教室の中のその色のものをさがしてタッチ
- 3

Freeze! What did you touch?

先生の合図で止まる。数人に「何をタッチした？」と聞く（日本語でOK）
- 4

Next color!

次の色へ。5～6色まわしたら着席

進行メモ 読み上げ順と間の取り方

順	色	ねらい・教室のありか（例）
1	red	らんどせる・日直の名札・国語の教科書…見つけやすい色から
2	blue	体操服のライン・ぞうきんバケツ・かさ
3	green	黒板！（「みどりじゃん！」のつぶやきが理科的発見）
4	yellow	ぼうし・チョーク・とうばんひょう
5	pink / purple	ふでばこ・けしごむ…もちものゾーンへ
6	brown	つくえ・ゆか・ドア（さいごは全員が必ずタッチできる色で締める）

はしらない・おさない・友だちのものは目でさがす、を最初に確認。「Touch!」の前に「Walk, walk…」と歩かせておくと走らない。

ルール

（子どもへ）①あるいてさがす（はしらない） ②友だちのもちものは、さわらずゆびさすだけ ③おなじものにタッチしてもOK（なかよくどうぞ）

☆レベルアップ！ チャンピオン戦は「2色タッチ」！ Red and blue! ときこえたら、りょう手で2色を同時にタッチ。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・黒板（green）は毎年必ず「えっ黒じゃないの！？」の声上がる鉄板の発見ポイント。英語の授業が世界の見え方を変える瞬間なので、しっかり驚いてあげる
- ・「Freeze!」の合図を最初に練習しておく、以後どの活動でも收拾がつく（この単元最大の副産物）
- ・教室に少ない色（purple など）は「近い色でOK」と言ってあげる。色さがしが厳密さの試験にならないように